

「健康で心豊かに長生きをしましょう。」

平成30年12月27日
村山 章

全く知らない土地に行って小さな工場を立ち上げ、全く知らない方々と知り合うというのはなぜか大きな喜びですね。昔から出会いは奇跡と言われてきました。この地球上には約180万種類の動物が生息していて、人間はその内の一種類であり、その人間はこの地球上に七十数億人生きている。そのなかで人と人が出会うのですから奇跡なのだと、かつて教わったことがあります。知らない土地に行けば多少の緊張感や不安もありますが、知り合った方々と話をすると本当によい人ばかりです。出会いに感謝です。

一方ビジネスの世界は、公正かつ自由な競争によって経済を発展させようという法律の下で、日々競争しています。生産性を高めて利益を出さないと発展できませんし、赤字では継続すらできません。決して甘いことは言ってられません。「職場は感情抜きの世界。家庭は感情だけの世界。割り切ってください。仲よくしないでください」と、これは能書きを意識して申し上げます。しかしながら、人間には元々、集団で行動したほうが天敵に襲われにくいという集団帰属本能が備わっていますから、集団のなかで人と接する機会が喜びになるのですね。また一方で、心に一番大きな負担となるのは孤独に晒される状態ですから、その孤独を避けようとしているのかもしれませんが。

一期一会という言葉は元々、茶の湯の教えを説いていたようです。「茶会は常に人生で一度きりのものと心得て、相手に対して精一杯の誠意を尽くさなければならない」という意味のようで、千利休が言ったとされています。しかしこれは“二度と会えない相手との出会い”を言ったのではなく「何度(茶会で)会うにしても、一度きりと考えてその機会を大切にす」という意味のようです。一生、相手を思うおもてなしの感覚が大切なんですね。

人様の役に立ち、喜ばれることが最大の幸福感につながるはずです。出会いに感謝をし、誠心誠意精進していきたいと思えます。